

国語教育のための「常用漢字表」語例の検討

河内 昭浩 (安田女子大学文学部) †

A Study of “*Joyo kanji table*” Vocabulary for Japanese Language Education

Akihiro Kawauchi (Faculty of letters, Yasuda Women’s University)

要旨

常用漢字表には漢字の使用の目安として語例が掲げられている。常用漢字表は2010年に改定されたが、その際に語例は検討されていない。語例の、現代社会における目安としての適否を、コーパス・データをもとに検討する。使用するコーパスは「現代日本語書き言葉均衡コーパス」と「教科書コーパス」である。また、それぞれのコーパスにおける語彙のレベル判定を行う。その上で、重要度、日常度、教科書レベル、文化度といった観点で語彙を整理し、国語教育において指導すべき語彙の選定について言及した。例えば日常度が低く重要度の高い語は、学校で指導すべき語であると言える。また日常度や重要度の低い語は、現在の常用漢字表の語例としては不適切かもしれない。しかし一方で、文化の継承という観点では、学校での指導が必要な語であるとも考えられる。このように、国語教育の観点から常用漢字表の語例を考察した。

1. はじめに

常用漢字表の「表の見方及び使い方」には、「例欄には、音訓使用の目安として、その字の当該音訓における使用例の一部を示した」とある。「目安」は、常用漢字表の性格をもっとも端的に表している語である。「一般の社会生活において、現代の国語を書き表す場合の漢字使用の目安」（常用漢字表「前書き」）として常用漢字表はある。したがって例欄に示す語が同様の「目安」という性格を有するのは当然のことである。

1981年に制定された常用漢字表の漢字1945字は、書籍の出現頻度等のデータをもとに2010年に改定され、2136字（196字追加5字削除）となった。その際、既存の常用漢字の語例は変更されていない。約30年の時を経て、語例の中には現在はほとんど使用されていないものも少なくない。現代社会の使用の目安となるように、字種同様に語例も、客観的な資料をもとに検討、改定されるべきである。本発表はそうした問題意識のもとに、コーパス・データを用いて常用漢字表語例を複数の観点から検証するものである。

また常用漢字表において、学校教育における指導は「別途の教育上の適切な措置にゆだねる」（昭和56年国語審議会答申「常用漢字表」前文）とされている。つまり漢字の選定において教育的見地は対象外ということである。しかし、実際に常用漢字を学ぶ場は学校の国語の授業である。具体的には、常用漢字表の漢字のおよそ半数である1006字が、小学校学年別漢字表に示される漢字となる。さらに学習指導要領には、中学校終了までに「常用漢字の大体を読むこと」、高等学校では「常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること」（国語総合）と記されている。またそもそも国語教育には、常に子どもの日常生活、社会生活に資する言語力を育成することが求められている。常用漢字表の、

† kawauchi@yasuda-u.ac.jp

一般の社会生活における目安という考え方と、国語教育の向かう先は方向を一としている。

そのように考えると、常用漢字表の語例は社会生活における漢字使用の目安として、同時に漢字指導のための用例として、国語教育において本来もっと注視されるべきものである。本発表では、国語教育における指導すべき語彙の選定という視点からも常用漢字表語例を眺望する。一般の社会生活における目安という観点では不適切と考えられる語例も、文化の継承という観点からは、常用漢字表に残すべき、あるいは学校で指導、継承すべきと判断できる語もある。教育の視点から見ることで、常用漢字表語例の価値の再認識ができると考えている。

2. 常用漢字表語例集の作成

語例の検討に当たり、まず常用漢字表語例集を作成した。

常用漢字表には、備考欄も含め延べ語数 9872 の語例が掲げられている。その内、「学校・社会対照語彙表」と照応が可能であった延べ語数 8544 の語例の、教科書並びに実社会での頻度等の調査を行い、表にまとめた。「学校・社会対照語彙表」は、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」並びに「教科書コーパス」に出現する語彙の頻度やレベルの情報を一覧にしたものである。「学校・社会対照語彙表」から必要な情報を抽出し、加えて「教科書レベル」という新たな情報を付与して整理したのが本集である。「教科書レベル」は、田中（2011）にある、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」各サブコーパスの、語彙レベルの設定方法と同じ手順で、発表者が独自に作成したものである。

漢字	種	類	漢	名詞	全	国	数	理	社	外	技	差	保	情	L	P	F	F	O	C	書	国
1	垂	常用	垂流	漢	名詞	0	-	0	0	0	0	0	0	0	d	e	d	e	e	e	書	
1	垂	常用	垂麻	漢	名詞	高	3	e	3	0	0	0	0	0	e	e	c	d	e	c		国
2	哀	常用	哀愁	漢	名詞	0	-	0	0	0	0	0	0	0	c	d	d	e	e	c	書	
2	哀	常用	哀願	漢	名詞	中	1	e	1	0	0	0	0	0	c	c					書	
2	哀	常用	悲哀	漢	名詞	高	3	e	1	0	0	2	0	0	c	c	c	c		e	書	
2	哀	常用	哀れ	和	名詞	小前	23	e	9	0	0	13	0	0	a	b	d	d	c	c	書	
2	哀	常用	哀れ心	和	動詞	中	6	e	2	0	0	1	0	0	c	c	e		e	d		
2	哀	常用	哀れみ	和	名詞	中	6	e	1	0	0	5	0	0	c	d			e	e		
3	挨	新規	挨拶	漢	名詞	小前	108	c	71	0	0	8	19	4	a	a	a	a	a	a	書	国外
4	愛	教育	愛情	漢	名詞	小前	49	d	20	0	0	8	1	14	a	a	b	b	b	b	書	
4	愛	教育	愛読	漢	名詞	小後	4	e	3	0	0	1	0	0	c	c	c	d	e	d		
4	愛	教育	恋愛	漢	名詞	中	28	d	16	0	0	6	1	5	a	a	a	b	a	a	書	
4	愛	教育	愛媛	固	名詞	小後	34	d	11	0	2	17	0	0	c	b	b	a	c	b	教	国社
5	曖	新規	曖昧	漢	形容詞	中	48	d	31	1	0	8	1	1	a	a	b	b	b	b	書	国
6	悪	教育	悪事	漢	名詞	高	3	e	3	0	0	0	0	0	c	c	e		d	d	書	
6	悪	教育	悪意	漢	名詞	中	7	e	1	0	1	0	0	2	b	b	c	d	c	c	書	
6	悪	教育	醜悪	漢	名詞	高	3	e	3	0	0	0	0	0	d	d			e	e		
6	悪	教育	悪寒	漢	名詞	0	-	0	0	0	0	0	0	0	c	d			e	e	書	
6	悪	教育	好悪	漢	名詞	0	-	0	0	0	0	0	0	0	e	e						
6	悪	教育	憎悪	漢	名詞	高	9	e	8	0	0	1	0	0	b	c	d	d	e	c	書	
6	悪	教育	悪い	和	形容詞	小前	232	b	74	1	46	28	15	46	a	a	a	a	a	a	書	
6	悪	教育	悪者	和	名詞	高	1	e	0	0	0	1	0	0	c	c	d		c	c	書	
7	握	常用	握手	漢	名詞	小前	11	e	11	0	0	0	0	0	b	b	c	b	d	b	書	国
7	握	常用	握力	漢	名詞	中	9	e	1	3	0	0	0	0	e	e	e	e	e	e		数保
7	握	常用	掌握	漢	名詞	中	17	e	1	0	0	16	0	0	b	c	c	d	e	d		社
7	握	常用	握る	和	動詞	小前	193	b	20	0	7	141	0	5	a	a	a	a	b	a		社
7	握	常用	握り	和	名詞	中	15	e	0	0	0	0	0	0	c	d	c	d		d		芸
7	握	常用	一握り	和	名詞	中	3	e	1	0	0	2	0	0	c	d	d	d	d	d	書	

3. 語例検討の観点

作成した常用漢字表語例集をもとに、本稿では以下の観点を定めて語の検討を行う。

3. 1 重要度

LB (図書館書籍サブコーパス) をもとに作成された語彙のデータが、一般社会の語彙のありようをよりよく反映していると田中 (2011) によって分析されている。LB の語彙レベルを重要度の指標とする。一般の社会生活の目安として掲げられている常用漢字表語例は、この LB レベルが高いことが望ましいと言える。

また社会生活に役立つことばの力の育成が求められている国語科にとっても、この重要度という指標はまさに重要である。特に重要度が高く、かつ下項で示す日常度の低い語彙は、学習語として今後、国語科語彙指導で最も扱うべき語彙であると考えている。(河内 2014)

3. 2 日常度

OC (知恵袋) サブコーパスのレベルが、日常的な語彙のありようをもっともよく反映していることが、これも田中 (2011) の検証によって明らかにされている。このサブコーパスの語彙レベルを日常度の指標とする。日常レベルで広く使われているという点で、LB 同様にこの OC においても、常用漢字表語例の語彙レベルは高いことが望ましいと考えられる。ただし、重要度に対して一般社会における必要性は低いと言える。

また中学校国語では、特に第 1 学年の各領域において、「日常生活」におけることばの力の育成が求められている。この中学校国語における「日常生活」と、語彙レベルにおける「日常度」は概念が完全に一致するものではない。前者は、「学校や家庭、地域など、身の回りの生活」(『中学校学習指導要領解説国語編』) を指し、後者は、書籍や新聞等と比較した上での語彙の特徴を指す。しかし日常性という性質は共通のものであり、日常において読み書きできる語の指標として、この OC レベルを用いることは可能である。

なお本発表においては、LB (図書館) と OC (知恵袋)、並びに独自に設定した教科書の語彙レベルを活用している。本来、それ以外の PB (出版)、PM (雑誌)、PN (新聞)、OY (ブログ) の語彙レベルを LB、OC の指標の補完として用いることが望ましい。参考資料としてそれらの語彙レベルの状況を示しているが、本格的な活用は今後の課題となる。

3. 3 教科書レベル

教科書の特徴を示すものとしては、すでに近藤 (2008) による「教科特徴度」がある。これは書籍と比較した場合の教科書における度数の特徴を示す値である。

本発表では、LB、OC そして教科書の 3 者を比較して語彙の検討を行う。したがってここでは教科特徴度は用いずに、LB、OC と同じ手法で a~e の教科書の語彙レベルを設定した。教科書レベルと呼び、教科書の語彙の指標とする。

3. 4 文化度

日常度、重要度、教科書レベルは低くても、歴史的、文化的見地から、国語科で指導、継承すべきと考えられる語がある。例えば、常用漢字表語例の中には、現代日本語の書き言葉にはほとんど見られない、次のような時季にかかわる語がある。

霧雨 観桜 盛夏 初荷 賀状 寒暑 雨季

これらの語は、現代の使用の目安という観点で考えると、常用漢字表語例としてはふさわしくない。しかし学校において、とりわけ国語科の指導で取り上げない限り、子どもたちが目にする機会はほとんどないことになる。こうした語彙を精選して文化度の高い語とする。その上で、常用漢字表から削除すべき語、学校で指導すべき語を選定していきたい。

4. 観点をういた語例の分析

4. 1 常用漢字語例 度数・割合表

前項の観点をもって、常用漢字表語例集中の、異なり語数 7514 についての分析を行った。

まず、重要度、日常度、並びに教科書レベルの度数と割合をまとめると以下の通りとなる。[表1]

	a	b	c	d	e	—	計
重要度 (LB: 図書)	2024 26.9%	1705 22.7%	1699 22.6%	1003 13.3%	1032 13.7%	55 0.7%	7518
日常度 (OC: 知恵袋)	955 12.7%	953 12.7%	1180 15.7%	1085 14.4%	2111 28.1%	1234 16.4%	7518
教科書	719 9.6%	551 7.3%	750 10.0%	749 10.0%	3714 49.4%	1035 13.8%	7518

全体の約半数(49.6%)の常用漢字表語例が、重要度の高い語(a, b)であることが分かる。一般社会の語彙のありようを反映するLBのレベルの高い語例は、「目安」としての役割を果たしていると言えるだろう。しかし一方で重要度の低い語(d, e, —)も約1/4にのぼる(27.7%)。

日常度については、どのレベルにも語彙が平均的に広がっている。語例と日常度との関係性が重要度と比べて低いことが分かる。

教科書レベルの高い語(a, b)が少ない(17.9%)。約半数の語の重要度が高いことと併せて考えると、ここに教科書の語彙の特徴と課題があると考えられる。子どもたちの実生活に資するために、現状の教科書の語彙がその役割を果たしているとは言えないだろう。

なお参考として、PB~OYの語彙レベルの頻度と割合の状況をまとめておく。[表2]

	a	b	c	d	e	—	計
PB(出版書籍)	1843 24.5%	1612 21.4%	1642 21.8%	1084 14.4%	1108 14.7%	229 3.0%	7518
PM(雑誌)	1664 22.1%	1211 16.1%	1133 15.1%	1316 17.5%	770 10.2%	1424 18.9%	7518
PN(新聞)	1461 19.4%	1101 14.6%	1238 16.5%	992 13.2%	806 10.7%	1920 25.5%	7518
OY(ブログ)	1437 19.1%	1240 16.5%	1474 19.6%	1081 14.4%	1857 24.7%	429 5.7%	7518

4. 2 重要度・日常度・教科書レベル 相関表

次に3つのレベルの相関をまとめ、具体的な語例の検討を行う。

まず、重要度と日常度の相関関係をあらわしたのが次の表である。[表3]

LB\OC	a	b	c	d	e	—	計
a	912	651	347	89	24	1	2024
b	37	256	556	448	372	36	1705
c	5	42	222	382	825	223	1699
d	1	3	46	124	496	333	1003
e	0	1	8	39	379	605	1032
—	0	0	1	3	15	36	55

重要度、日常度ともに高い語については、生活上必要性の高い語であると判断することができる。ここでは重要度、日常度ともに高い語の集まりを「生活語彙」と呼ぶこととする。これらの語は常用漢字表語例として適切であると言える。国語教育においても重要性の高い語であることは言うまでもない。ただこれらの語は、後掲する一覧表を見て分かるように、実生活の中で子どもたちが自然に意味を理解し、使用できると思われる語も多い(悪い、握るなど)。取り立てて指導すべき語かどうかを精査する必要がある。

一方、重要度は高いが日常度は低いという語の集団がある。これらの語は社会生活で必要性が高い一方で、日常的には用いられることが少ないということになる。指導の必要性の高い語と言える。特にこれらの語のうち、教科書での頻度が高く、かつ各教科の専門用語以外の語は「学習語彙」として、学校で積極的に取り扱うべき語であると考えている。

また一方、重要度、日常度ともに低い語の集団がある。これらは一般社会の使用の目安という、常用漢字表語例の性質を伴っていない語である可能性が高い。常用漢字表の語例としての適否を精査する必要がある。国語教育においては、実生活に資するという観点からは指導の必要性の低い語である。しかし、前述したように文化度という観点では、学校での指導が求められる語であるとも考えられる。

以下、教科書と重要度、日常度の相関表を掲げる。[表4] [表5]

教科書のレベルが高く、重要度、日常度の低い語の中にも、「学習語彙」が含まれていると考えられる。また逆に教科書のレベルが低く、重要度、日常度の高い語の中には、今後学校教育に取り入れるべき語が含まれていると考えている。

LB\教科書	a	b	c	d	e	—	計
a	674	433	438	276	202	1	2024
b	36	91	245	333	974	26	1705
c	8	23	51	110	1361	146	1699
d	1	3	12	19	652	316	1003
e	0	1	4	10	471	546	1032
—	0	0	0	1	54	0	55

[表5]教科書\日常度(OC) 相関表

教科書\OC	a	b	c	d	e	—	計
a	437	180	77	14	11	0	719
b	197	165	108	56	24	1	551
c	161	201	186	107	78	17	750
d	92	150	204	158	119	26	749
e	68	254	564	669	1474	685	3714
—	0	3	41	81	405	505	1035

5. 生活語彙

[表 3] に示したように、重要度、日常度ともに高い語 (a, b) が 1856 語ある。これらの語の、教科書レベル並びに PB~OY の語彙レベルとの相関は次の通りである。[表 6]

また特に、重要度、日常度、教科書レベルのいずれも高い 977 語 (a, b) を一覧表にした。その一部を掲げる。[表 7]

[表6]LB(a,b)・OC(a,b)\教科書, PB~OY 相関表

LB(a,b)・OC(a,b)	a	b	c	d	e	—	計
教科書	617	360	361	234	282	2	1856
PB	1478	359	19	0	0	0	1856
PM	1406	359	82	7	0	2	1856
PN	1155	426	217	41	10	7	1856
OY	1326	446	77	6	1	0	1856

[表7]生活語彙(重要度:a, b\日常度:a, b\教科書:a, b);一部

悪い	握る	圧力	気圧	扱う	安全	不安	暗い	以上	位置	範囲	医療	委員	行為	異なる	移る	移す	椅子	意見	意味
違う	違い	維持	繊維	地域	教育	育つ	育てる	一般	統一	一日	一人	引く	印刷	印象	原因	因る	議員	左右	右
宇宙	雨	運動	運ぶ	雲	映画	栄養	経営	影響	撮影	衛生	利益	液体	血液	越える	援助	公園	喫煙	演奏	中央
反応	押す	奥	横	部屋	記憶	音楽	発音	音	気温	温める	上下	下	下がる	下さる	化学	文化	火	加える	可能
許可	何	花	価値	価格	評価	結果	科学	教科	夏	家庭	家	通過	過ぎる	過ごす	歌	歌う	我々	計画	紹介
回る	回す	会話	社会	会う	改革	海	世界	皆	機械	開始	展開	開く	解決	理解	解く	破壊	海外	外	被害
蓋	角度	三角	拡大	性格	覚える	比較	確認	正確	確かめる	獲得	学習	大学	学ぶ	楽器	楽しい	楽しむ	掛ける	掛かる	活動
生活	分割	割る	割合	完全	完成	乾燥	患者	寒い	交換	時間	人間	間	勧める	感覚	漢字	習慣	管理	関係	関する
関わる	環境	循環	簡単	観察	韓国	含む	含める	顔	企業	危険	机	希望	季節	既に	記入	記号	起きる	起こる	起こす
基礎	基準	基づく	規則	幾ら	期間	期待	最後	機会	技術	疑問	会議	九百	普及	及び	吸収	呼吸	要求	求める	研究
地球	過去	巨大	居る	根拠	許す	距離	共同	共通	公共	供給	提供	子供	協力	状況	狭む	狭い	強い	宗教	教える
競争	職業	玉	平均	近い	金属	金	細菌	動める	筋肉	筋	禁止	緊張	銀行	区別	道具	空	繰り返す	君	直径
型	契約	計算	時計	経済	経験	景気	軽い	傾向	携帯	迎える	攻撃	激しい	穴	決める	決まる	結論	結婚	結ぶ	月
事件	条件	見る	見える	見せる	建築	建物	健康	保険	検討	派遣	権利	憲法	試験	実験	元	言う	言葉	制限	限る
限り	現象	現在	表現	減らす	厳しい	自己	古い	呼ぶ	固定	固い	事故	個人	個性	雇用	互い	前後	語る	物語	保護
人口	口	工場	加工	人工	成功	広い	広がる	広げる	交通	交ぜる	観光	光	向上	向ける	向かう	思考	参考	考える	考え
旅行	行政	行く	行う	更に	効果	厚生	厚い	天皇	学校	航空	降る	最高	高い	項目	構造	興味	購入	番号	合計
合う	試合	合わせる	報告	時刻	国際	国家	外国	国	骨	頃	今後	今日	今	困難	根	左	調査	砂糖	差別
差す	再び	採用	済む	細かい	細かい	野菜	最大	最近	最も	裁判	存在	材料	財産	著作	作業	作用	動作	作る	政策
対策	皿	山	参加	産業	生産	酸素	賛成	残る	残り	残す	女子	様子	子	支持	支える	止まる	止める	仕事	歴史
市民	都市	死亡	死ぬ	糸	至る	私	使う	刺激	始める	始め	始まる	福祉	姿勢	姿	思う	思い	指示	指導	指

なお重要度, 日常度ともに高いにもかかわらず, 教科書レベルの低い語(d, e, -)が 518 語ある。生活語彙の 3 割近くになる (約 28%)。このことは, それらの語の全体を大まかに見る限り, 常用漢字表語例の課題と言うよりも, 教科書の抱える課題であるように見える。言うまでもなく各教科の学習のために教科書はある。しかし一方にある, 実際の生活に資するという学校教育の目的を考えた時, 教科書にかかる教育的フィルターの是非について論じていくことも必要であると考え。以下にその一部を掲げる。 [表 8]

[表8]教科書不足語彙(重要度:a, b/日常度:a, b-教科書:d, e, -);一部

愛情	恋愛	曖昧	扱い	依頼	偉い	違反	違法	間違う	間違える	引退	社員	飲食	隠れる	右手	水泳	映る	越す	応援	演技
汚い	往復	殴る	下る	下手	化粧	加入	加減	何事	何十	花火	菓子	嫁	休暇	暇	靴	稼ぐ	蚊	回答	次回
改造	怪しい	後悔	悔しい	潰す	潰れる	壊す	壊れる	怪かしい	外出	外科	外れる	損害	該当	覚悟	覚え	覚める	確定	顎	割れる
若干	干す	甘い	甘える	看護	疾患	世間	勧め	関節	旅館	簡易	眼鏡	笑顔	危ない	元気	浮気	祈る	帰る	寄る	亀
偽物	詐欺	詰める	虐待	久しい	休憩	休む	休み	救急	去年	金魚	御飯	叫ぶ	狂う	恐怖	恐らく	恐ろしい	競馬	響く	曲がる
近所	金銭	金持ち	勤務	出勤	苦勞	空く	理屈	熊	訓練	経費	警告	欠ける	清潔	月曜	研修	機嫌	嫌う	嫌い	賢い
懸命	玄関	限度	期限	源泉	戸籍	固まる	虎	解雇	雇う	午前	後輩	誤解	細工	向こう	好意	好み	好く	更新	今更
幸い	幸せ	荒れる	香り	控除	控える	黄色い	喉	慌てる	結構	構う	間い合わせる	告白	地獄	日頃	今朝	今年	昆布	婚約	沙汰
座席	再度	返済	詳細	交際	財布	謝罪	削除	昨日	昨年	酔	咲く	殺人	擦る	参る	土産	傘	散歩	残念	息子
支障	支店	氏名	上司	旨	必死	伺う	私立	使い	姉妹	容姿	視力	歌詞	試し	資格	飼う	次元	無事	持参	辞書
叱る	嫉妬	実力	田舎	医者	前者	感謝	謝る	風邪	借金	若しくは	寂しい	手伝う	留守	腫れる	受験	受付	優秀	拾う	臭い

6. 学習語彙

重要度が高く (a, b), 日常度が低い語(d, e, -)は, 国語教育において指導すべき語となり得る。以下に, 教科書レベル並びに PB~OY の語彙レベルとの相関を示す。 [表 9]

[表9]LB(a,b)・OC(d,e,-)\教科書, PB~OY 相関表

LB(a,b)・OC(d,e,-)	a	b	c	d	e	-	計
教科書	18	63	150	189	534	16	970
PB	72	551	337	9	1	0	970
PM	42	261	345	222	65	35	970
PN	78	219	301	196	92	84	970
OY	6	182	496	201	83	2	970

また特に, 教科書レベルの高い語 (a~c) 231 語を一覧表にした。 [表 10]

[表10]学習語彙(重要度:a, b/日常度:d, e, -教科書:a, b, c)

推移	維新	調印	繁栄	栄える	陣営	営む	炎	鉛	音色	下流	化石	果実	貨幣	通貨	余暇	画家	介入	航海	絵画
開拓	革新	格子	歌舞伎	紀元	軌道	起源	基	儀式	急速	宮殿	宮廷	宮	拠点	漁業	恐慌	強まる	強める	教え	郷土
響き	曲線	近代	接近	琴	苦しみ	君主	軍備	模型	傾斜	継承	鯨	絹	権威	孤立	後	広大	広場	広がり	交わる
光線	諸侯	洪水	耕地	農耕	鉱山	酵母	復興	振興	均衡	合同	彫刻	穀物	貧困	連鎖	鎖	星座	色彩	採集	考察
山脈	仕える	樹脂	視覚	試み	詩人	物資	諮る	活字	寺院	描写	斜面	主権	地主	狩猟	儒教	樹木	樹立	民衆	全集
成熟	順序	秩序	肖像	提唱	奨励	縄文	土壌	特色	生殖	装飾	織物	深まる	深める	森林	審議	親しむ	遂げる	中枢	北西
統制	百姓	征服	遠征	青銅	情勢	聖書	関税	脊椎	遺跡	説く	変遷	組成	組み込む	紛争	草履	創造	断層	貯蔵	一族
従属	率いる	農村	対立	帯びる	堆積	大衆	採択	石炭	団結	段落	弾圧	池	竹	家畜	蓄える	抽出	頂点	調和	追放
定まる	海底	締結	水田	粘土	電灯	東側	列島	討論	稲	稲作	道徳	神道	内外	首脳	背後	俳句	敗れる	培養	媒介
財閥	版画	運搬	批評	飛躍	標本	分布	富む	富	普遍	屋敷	武力	噴火	噴出	古墳	分別	平面	併合	歩み	連邦
做う	鉄砲	妨げる	冒頭	膨大	北方	大木	遊牧	盆地	幕末	満ちる	同盟	連盟	滅亡	絶滅	滅ぼす	野外	羊	海洋	要点
形容	落葉	集落	反乱	流動	留意	留まる	倫理	臨む	礼拝	寒冷									

例えば「維新」, 「化石」(いずれも[表10]の1段目)などは, それぞれ社会, 理科の専門用語であり, 各教科でその意味も含めて学習することになる。

一方で「調印」(同)は, 小学校から高校までの社会科の教科書で用いられるが, 「調印」という言葉自体の説明は教科書にはない。本来, 社会科の中で指導されるべき学習語である。また「推移」(同), 「繁榮」(同)といった語は幅広い教科で用いられ, 多種の物事を受ける語となっている。こうした語は国語科で指導されるべき学習語である。

なお学習語彙と離れるが, [表8]を見て気付くことを記す。

LBとPB, OCとOYは近いメディア・ジャンルである。[表2]に示したように, 語彙レベルの割合の傾向はほぼ同様である。しかし語彙レベルの傾向が一致しているわけではないことが, [表9]を見るとわかる。

LBの語彙レベルが高くて, PBの語彙レベルが低い語(d, e, -)が10語見られる。[表11]

OCの語彙レベルが低くて, OYの語彙レベルが高い語(a, b)は188語にのぼる。[表12]

[表11]PB特徴語(LB:a, b∧OC:d, e, -∧PB:d, e, -)

余暇	在留	肉親	扇	霜	談判	銅像	陪審	土俵	陵墓
----	----	----	---	---	----	----	----	----	----

[表12]OY特徴語(LB:a, b∧OC:d, e, -∧OY:a, b)

握手	推移	偉大	一息	日陰	英雄	炎	宴会	講演	王子	屋上	観音	花壇	果実	初夏	出荷	通貨	画家	優雅	絵画	
開拓	街道	覚ます	乾杯	彼岸	危うい	帰還	輝き	騎士	儀式	脚本	弓	丘	急速	宮殿	宮	救い	芝居	拠点	供	
強まる	教え	境内	響き	近代	接近	襟	苦しみ	駆る	青空	群れ	模型	恵み	稽古	鯨	演劇	感激	欠く	県立	幻	
源	己	後	広場	交える	向かい	洪水	懐かしい	港	絞り	酵母	振興	合同	合戦	彫刻	貧困	示唆	夫妻	祭る	矢	
師匠	詩人	寺院	鹿	描写	斜面	守り	就任	女神	乙女	秩序	小豆	沼	笑み	負傷	照らす	表彰	鐘	土壌	前進	
森林	人員	遂げる	歌声	遠征	盛る	情勢	聖書	惜しむ	遺跡	足跡	絶妙	染まる	真相	搜索	創造	霜	贈り物	率いる	本尊	
対立	大胆	大衆	道端	段落	池	竹	挑む	眺め	頂上	澄む	塚	弟子	庭園	転がる	藤	童話	独り	連日	断念	
首脳	背後	俳句	敗れる	拍手	麦	悲しむ	漂う	分布	浮かべる	屋敷	舞う	仏像	並木	便り	歩む	暮れる	暮れ	連邦	訪ねる	
冒頭	傍ら	平凡	麻	満ちる	味わい	岬	奇妙	悪夢	夢見る	霧	夜明け	迷い	同盟	連盟	悲鳴	暗闇	妖怪	海洋	踊り	
着陸	留まる	林	臨む	礼拝	鈴	連れ	試練													

7. 文化語彙

重要度, 日常度ともに低い語(e, -)は, 常用漢字表語例としてふさわしくない語である可能性がある。一方で, 文化語として国語教育で扱うべき語である可能性も有する。以下に, 教科書レベル並びにPB~OYの語彙レベルとの相関を示す。[表13]

[表13]LB(e,-)・OC(e,-)\教科書, PB~OY 相関表

LB(d,e,-)・OC(d,e,-)	a	b	c	d	e	-	計
教科書	0	0	4	10	495	526	1035
PB	0	1	26	175	630	203	1035
PM	0	6	23	123	177	706	1035
PN	1	7	30	74	131	792	1035
OY	0	2	29	88	593	323	1035

また特に, 重要度, 日常度, 教科書レベルのいずれも低い語(d, e, -), 1021 語を一覧表にした。その一部を掲げる。[表 14]

[表14]文化語彙(重要度:e, - 日常度:e, - 教科書:e, -);一部

垂麻	好悪	握力	客扱	砂嵐	案文	各位	位取り	胃弱	尉官	一尉	偉観	慰む	慰み	姻族	淫行	淫光	光陰	痛飲	隠忍
雲隠れ	気宇	雨具	五月雨	霧雨	泳法	俊英	栄枯	詠草	朗詠	易者	不易	悪疫	防疫	益する	液状	悅楽	喜悅	謁する	閱歴
一寸	川沿い	才媛	花園	煙霧	煙い	煙たい	野猿	鉛色	縁取り	妖艶	色艶	汚点	汚れ物	汚らしい	押韻	欧文	渡欧	殴打	桜花
桜色	葉桜	老翁	深奥	専横	恩情	謝恩	穩和	穩当	化かす	仮名	落花	果断	河岸	罪科	書架	盛夏	夏服	香華	茶菓
過つ	再嫁	嫁する	嫁ぎ先	寸暇	禍福	禍根	災禍	製靴	蚊柱	齒牙	瓦屋根	肉芽	賀状	賀する	雅趣	手回し	戒心	更改	拐帯
悔恨	海鳴り	皆勤	地階	塊状	決壊	懐手	外題	外道	外圍い	害悪	崖下	慨嘆	該博	四つ角	角笛	隔月	岳父	楽隊	喝破
渴水	割拠	葛湯	滑降	刈り入れ	甘言	甘受	汗顔	肝胆	冠詞	栄冠	一卷	看破	寒暑	寒空	敢然	閑却	鉄管	閑取	交歓
緩慢	緩急	緩み	丸薬	丸洗い	含蓄	愛玩	眼力	頑健	厚顔	したり顔	願わしい	安危	火の気	風紀	鬼才	鬼ごっこ	悲喜	棋士	棋譜
毀誉	旗色	手旗	輝石	威儀	児戯	擬音	白菊	吉例	大吉	吉報	難詰	詰み	客死	脚立	行脚	順逆	久遠	及第	及び腰
弓道	旧道	不朽	腐朽	臼歯	学究	感泣	泣き沈む	球技	牛馬	去就	拳手	壮拳	魚	煮魚	大漁	吉凶	狂おしい	享有	概況
地峡	挾撃	狭量	広狭	胸囲	胸毛	強がる	近郷	在郷	矯める	競泳	競輪	競り合う	仰角	今暁	通暁	罪業	凝り性	終極	玉石
金色	木琴	筋骨	僅差	胸襟	詩吟	苦吟	掛け駆け	愚問	愚鈍	空き巣	串刺し	串焼き	屈伸	音訓	勲功	殊勲	薫風	郡部	群居
係累	係争	默契	契る	恵与	恵む	慶弔	慶祝	慶賀	憩う	鯨油	劇薬	橋桁	穴居	墓穴	元結	傑物	双肩	建議	節儉
勤儉	兼職	剣舞	剣	拳法	軒数	強健	圈内	圏外	絹布	遣外	分遣	金遣い	先賢	靈験	懸垂	懸想	元帳	幽玄	言行
上弦	原	目減り	人減らし	克己	下戸	古株	円弧	内股	虎穴	猛虎	枯淡	小鼓	五色	互選	互い遣い	後刻	後添い	後の世	後れ毛
氣後れ	悔悟	基石	新語	正誤	功名	巧拙	広言	顔向け	江湖	廃坑	孝心	攻守	首肯	厚情	紅	大荒れ	色香	移り香	候文
就航	貢ぎ物	大降り	小康	黄	喉頭	硬度	生硬	張り上げる	綱紀	興趣	度量衡	聴講	号外	剛健	傲然	文豪	腹黒い	脱穀	獄舎
疑獄	老骨	持ち駒	今上	紺青	紺屋	商魂	教唆	詐取	再選	良妻	碎石	砕水	幸領	淡彩	採光	祭り上げる	秋祭り	潔斎	細腕
青菜	歳末	私財	鉄柵	圧搾	遅咲き	礼入れ	増刷	靴擦れ	雑兵	山車	寺参り	蚕糸	蚕食	産み月	産湯	雨傘	辛酸	酸い	食べ残し
暫時	止宿	某氏	矢面	寸志	私腹	枝葉	雄姿	相思	施療	脂ぎる	品詞	義齒	追試	誌面	雌伏	暇眼	恩賜	示し	字画
字	末寺	療治	時候	滋味	式辞	好餌	食餌	御璽	国璽	鹿の子	車軸	地軸	室	室咲き	執心	我執	湿す	乾漆	実入り
社	捨象	喜捨	大赦	恩赦	生煮え	謝絶	平謝り	正邪	蛇の目	蛇腹	大蛇	酌量	自若	閑寂	寂然	法主	朱肉	朱筆	狩り込み

なお試みに, 現勤務校の大学4年生31名に対して, [表 14] から任意に選んだ30語について, 読みと意味についての調査を行った(平成26年6月実施)。結果は以下の通りである。今後こうした調査を大規模に行い, 実態の把握に努めていく。

常用漢字語例	ふりがな	「読み」正答率	「意味」正答率	常用漢字語例	ふりがな	「読み」正答率	「意味」正答率
絹布	けんぷ	0.0%	27.0%	穀倉	こくそう	54.1%	67.6%
蚕糸	さんし	5.4%	27.0%	綱紀	こうき	56.8%	8.1%
花暦	はなごよみ	10.8%	2.7%	該博	がいぱく	56.8%	5.4%
剣ヶ峰	けんがみね	10.8%	0.0%	首肯	しゅこう	62.2%	32.4%
窯業	ようぎょう	21.6%	10.8%	鯨油	げいゆ	67.6%	83.8%
逡減	ていげん	27.0%	10.8%	岳父	がくふ	73.0%	0.0%
罷業	ひぎょう	35.1%	2.7%	焦眉	しょうび	73.0%	2.7%
才媛	さいえん	40.5%	16.2%	恩赦	おんしゃ	75.7%	8.1%
懸想	けそう	43.2%	16.2%	久遠	くおん	75.7%	35.1%
辣腕	らつわん	45.9%	18.9%	葛湯	くずゆ	78.4%	40.5%
蚊柱	かばしら	45.9%	32.4%	偉観	いかん	83.8%	5.4%
蜜月	みつげつ	51.4%	13.5%	霊峰	れいほう	83.8%	37.8%
謄写	とうしゃ	51.4%	13.5%	厚顔	こうがん	89.2%	62.2%
拐帯	かいたい	54.1%	0.0%	五月雨	さみだれ	89.2%	29.7%
気宇	きう	54.1%	10.8%	漏電	ろうでん	97.3%	89.2%

8. おわりにー今後の課題

今後は前節のデータをもとに、新しい常用漢字表語例の選定並びに文化語彙の選定の具体的提案を行っていく。まずは[表 14]とした 1021 字の語例が検討の対象となる。字種としては 797 字が対象となる。それぞれの語のレベルやコーパス上の用例などを一覧にしていく。その上で、「学校・社会対照語彙表」の、該当字種を含む別の語彙と、頻度やレベルを比較するなどして、常用漢字表語例としての妥当性や文化度を評価していく。

一例を挙げる。[表 14]冒頭の「亜麻」は、語種「亜」の語例である。常用漢字表には、語種「亜」に「亜流」(LB:d, OC:e), 「亜麻」(LB:e, OC:e), 「亜熱帯」(「亜」と「熱帯」に分かれて解析されてしまうためレベル判定不能)の 3 語が語例として掲げられている。一方「学校・社会対照語彙表」には、字種「亜」を含む語が 19 語ある。その中で「亜麻」(LB:e, OC:e)より LB, OC レベルの高い語(LB, OC いずれかあるいは両方がレベル d 以上)は、「亜鉛」(LB:d, OC:d), 「亜種」(LB:d, OC:e), 「亜鈴」(LB:d, OC:e), 「白亜」(LB:d, OC:e)である。特に「亜鉛」は教科書での頻度が高く、理科の特徴語である。「亜鉛」は「亜麻」に変わる、字種「亜」の語例候補になるだろう。しかし一方で、植物「亜麻」が、明治以降の北海道開拓の産物であるという歴史的価値を背負っていること、また「亜麻仁油」や「亜麻色」といった派生語も存在するといった事実を無視することはできない。

頻度や語彙レベルだけで判断することは難しい。用例の検討はもちろんだが、異なる年代への認知度調査や、多くの方々の識見を取り入れながら、本研究を前進させていきたい。

謝 辞

本研究は、文部科学省科学研究費基盤研究(C)一般(課題番号:25381226)の助成を受けたものです。

文 献

- 田中牧郎・近藤明日子(2011)「学校・社会対照語彙表」『特定領域研究「日本語コーパス」言語政策班報告書 言語政策に役立つ、コーパスを用いた語彙表・漢字表の作成と活用』, pp.69-76, JC-P-10-01
- 田中牧郎(2011)「語彙レベルに基づく重要語彙リストの作成ー国語施策・国語教育での活用のためにー」前同, pp.77-88, JC-P-10-01
- 近藤明日子(2008)「中学校教科書の教科別特徴度の抽出ー理科を例としてー」『特定領域研究「日本語コーパス」言語政策班中間報告書 言語政策に役立つ、コーパスを用いた語彙表・漢字表の作成と活用』, pp.169-174, JC-P-08-01
- 河内昭浩(2014)「理科教科書のことばの分析と理科学習語の選定」, 『日本語学』第 33 巻第 3 号, pp.69-77, 明治書院